



第17-48号

2017年10月20日

海老名警察署・座間市消防署と連携して 10月26日（木）「異常時総合訓練」を実施します

小田急電鉄株式会社（本社：東京都新宿区 社長：星野 晃司）は、2017年10月26日（木）小田急線海老名駅に隣接する海老名電車基地において、「異常時総合訓練」を実施します。

この訓練は、乗務員、駅係員、車両、工務、電気関係の係員など列車運行に関わる全部署および警察・消防機関を含めて総勢約400名が参加するもので、重大事故が発生した場合の人命の救助および早期復旧を目的に1962年から毎年実施しているものです。



本番さながらの臨場感、緊張感の中で訓練を実施（昨年の様子）

1 日 時 2017年10月26日（木）13時00分～15時40分（予定）

※ 予備日 2017年11月7日（火）

2 場 所 海老名電車基地（小田急小田原線・海老名駅西口）

3 訓練内容

「列車が踏切で乗用車と接触し脱線した」という想定のもと、実際に列車を脱線させた状態で実施します。列車内からお客さまの降車誘導や負傷者の救出・応急処置のほか、情報連絡や緊急出動、復旧作業などを海老名警察署・座間市消防署と合同で実施します。当日は「小田急アンケートモニター（50名）」の皆さまにも、同訓練の見学をしていただきます。

以上